

事業概要

【目的】老朽化の進む八ヶ岳山荘のあり方の検討結果と今後の方向性を示す。

【主な内容】自然教室の代替施設での実施を前提に、令和8年度をもって立川市八ヶ岳山荘を廃止したい。

1. 自然教室について

現在、八ヶ岳山荘で実施している小学5年生の自然教室については、代替施設での実施と事業内容の見直しにより、継続実施が可能な状況にあると捉えている。令和9年度に向けては、先般実施した学校への調査を踏まえつつ、候補となる代替施設を選定するとともに、早急に現地への実地調査を行うなど、確実な事業実施に向けた検討・調整を進める。また、単に施設を変更するだけでなく、環境学習や森林保全などをテーマとした新たな体験活動の構築を目指す。

【検討状況】

- ・代替施設を1か所に限定せず、複数施設から各校がニーズに合った施設を選択できるスキームを検討。
- ・体験活動の時間を確保するため、代替施設の立地条件として移動時間の短縮も視野に。
⇒現在、埼玉県および都内で計3か所程度の候補施設の調査を開始。今後、実地調査も含めて代替施設を決定する。

2. 八ヶ岳山荘のあり方検討と今後の方向性

八ヶ岳山荘のあり方の検討を通じて、施設の利用状況、施設・設備の状況、施設運営に係るコストのいずれについても、今後の存続に向けては大きな課題があることを確認した。特に施設・設備の老朽化は日々進行しており、不具合の発生状況によっては、直ちに施設を休止せざるを得なくなるおそれがある。このことは、一般利用者への影響だけでなく、施設の主な利用目的である小学5年生の自然教室の実施に対して大きなリスクとなっている。

以上のことから、立川市八ヶ岳山荘あり方検討会による検討結果として、**小学5年生の自然教室を代替施設で継続実施することを前提とし、「立川市林間施設条例」を令和8年度末をもって廃止する。**なお、廃止後の跡施設の処分については、土地所有者である山梨県と調整しつつ、民間事業者への施設譲渡等を含めて、最適な方法を検討する。

- ① 利用者数の減少
- ② 施設・設備の老朽化
- ③ 運営コストの上昇



施設休止のリスク

- ・自然教室への影響
- ・多額の施設改修コスト



- ・自然教室の代替施設での継続
- ・八ヶ岳山荘の廃止

3. 今後のスケジュール案

	令和7年度	令和8年度			
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
八ヶ岳山荘					
(第1回定例会・文教委員会) 八ヶ岳山荘のあり方検討結果報告	▶				
(第2回定例会) 立川市林間施設条例の廃止条例【予定】 ※令和9年4月施行		▶			
市民周知 (①あり方検討結果、②施設廃止)		①▶	②▶		
跡施設の方向性検討 (譲渡・除却)		▶			
令和9年度の自然教室に向けた検討					
代替施設の選定 (実地調査含む)	▶				
(第2回定例会・文教委員会) 令和9年度の実施・宿泊施設の検討状況		▶			
(第3回定例会・文教委員会) 令和9年度の実施・宿泊施設の決定			▶		
市教委から保護者宛通知発出				▶	
令和9年度教育課程届出説明会 (指導課)				▶	